

## 五星戦隊ダイレンジャー（1993～1994）

メディア TV

ジャンル 特撮 アクション ヒーロー

製作国 日本

色彩 Color

1993/02/19 ～ 1994/02/11

TV放映 金曜日

17:30～17:55

テレビ朝日

## 【解説】

“妖力”を自在に操り世界の支配を目論むゴーマが6000年の時を超えて復活した。“妖力”に対抗するには“気力”しかない！ 道士嘉羽（カク）に選出された気力に優れる5人の若者達は五星戦隊ダイレンジャーに転身、それぞれが赤龍、獅子、天馬、麒麟、鳳凰の拳を駆使し、五体の気伝獣を操ってゴーマ怪人に立ち向かうのだった！

中国拳法をモチーフとした本作品は、スーツアクターの流麗な体術のみならず出演者達のハイテンションな演技にも支えられ、アクション主体のハイテンポな仕上がりとなった。

杉村升を中心とした脚本陣も快調に飛ばし、謎の集団ゴーマとダイ族の歴史、亮の父の死と大連王の出現、クジャクと大五の愛、亮と魔拳士ジンの死闘、キバレンジャーコウと新気伝獣の誕生、阿古丸とコウの母の秘密、超気伝獣ダイムゲンの復活と大神龍の出現、道士嘉羽とシャダムの秘密と、息をもつかせぬ展開が視聴者を画面に釘付けにした。また、ガレージキット並のクオリティを見せる固定ポーズのミニチュアを見事に組み合わせた迫力ある特撮シーンも忘れることはできない。

惜しむらくは全編を貫く主題を設定できなかったことで、意外性を狙いすぎたためにストーリーに無理が生じた感がある。特にシリーズ後半に提示された“光ある所闇もまた存在し、戦いは尽きることはない”という思想は、作品中で消化されたとは言い難い。

なお、本作品の勢いは後楽園ゆうえんちにおけるアクションショーにまで及び、亮ら5人が素顔のまま登場するに至った。以後、後楽園では必ず主人公5人が登場するシリーズが組まれている。

## 【クレジット】

監督	小林義明 坂本太郎 小笠原猛 渡辺勝也 東條昭平	
アクション監督	竹田道弘	(ジャパン・アクション・クラブ)
プロデューサー	梶淳 鈴木武幸 白倉伸一郎	(テレビ朝日)  (東映)
原作	八手三郎	
脚本	杉村升 荒川稔久 藤井邦夫 高久進 井上敏樹	

キャラクターデザイン	篠原保 マイケル原腸	
撮影	いのくままさお	
特撮監督	佛田洋	
視覚効果	映画工房	
美術	山下宏	
造型	前沢範	
編集	山口一喜	
音楽	川村栄二	
アクション	大藤直樹 喜多川務 蜂須賀昭二 石垣広文 村上利恵	(ジャパン・アクション・クラブ)
造型製作	レインボー造型企画	
特技・操演	鈴木昶 尾上克郎	((株)特撮研究所) ((株)特撮研究所)
特技・撮影	高橋政千	((株)特撮研究所)
特技・美術	原田洋	((株)特撮研究所)
ナレーター	宮田浩徳	
出演	和田圭市 能見達也 羽村英 土屋圭輔 高橋夏樹 西凜太郎 天祭揚子 田村円 酒井寿 成瀬富久 中康治 三輝みきこ 桑原たけし 森下雅子 幸田宗丸 柴田翔平 伊吹剛 広瀬匠 上田忠好	天火星亮／リュウレンジャー 天幻星大五／シシレンジャー 天重星将児／テンマレンジャー 天時星知／キリンレンジャー 天風星リン／ハウオウレンジャー シャダム中佐 ガラ中佐 ザイドス少佐 吼新星コウ／キバレンジャー 亀夫 道士 嘉翔 (カク) コウの母 老道士 虞翻 (グホン) クジャク ゴーマ15世 阿古丸 鉄面臂張遼 的場陣 田宝将軍